



2022年11月11日

各 位

会社名 ワ タ ミ 株 式 会 社
(コード番号 7522 東証プライム市場)
代表者名 代表取締役会長兼社長 渡邊 美樹
問合せ先 取締役 CFO 渡邊 将也
(TEL 03-5737-2784)

通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

2022年8月12日に公表いたしました「2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました、2023年3月期通期の連結業績予想及び配当予想に関し、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期の連結業績予想について

(1) 2023年3月期通期の連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表(A)	—	—	—	—	—
今回発表業績(B)	77,000	900	4,200	3,000	73.84
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	64,362	△3,577	2,665	△1,844	△45.49

(2) 修正の理由

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難であったため、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定しましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を最も大きく受けている国内外食事業においては、不採算店舗の撤退、賃料減額交渉、経費削減等により固定費削減を実施し、売上規模縮小への耐性を強化してまいりました。また、外食需要の社会的な回復も相まって、国内外食事業として増収増益を達成することができました。

宅食事業においても、冷凍惣菜の販売、テレビショッピング放映等の販売強化を進めてきた中、大幅な増収増益となりました。結果、全社損益は、売上高は39,050百万円(前年同期比136.4%)となり、営業利益は923百万円(前年同期は3,078百万円の損失)、経常利益は4,182百万円(前年同期は1,624百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,229百万円(前年同期は3,003百万円の損失)となり、対前年同期比で大幅な増収増益となりました。

下半期における国内外食事業は、新型コロナウイルスワクチンの接種の増加、屋外でのマスク着用や会食における人数制限の緩和、入国制限の撤廃によるインバウンド需要の増加など飲食業界における経済活動の回復が進む中、上半期に比べ大幅な改善が見込まれます。一方、宅食事業においては新型コロナウイルスの鎮静化によって在宅需要の低減が予想されます。このような状況を鑑み、下半期の業績においては、保守的見地から営業損益、経常損益ともほぼゼロと考え、通期連結業績予想を修正するものであります。

なお現時点におきましても新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明な状況は続いており、実際の感染症の拡大状況やそれによる消費者動向等により、業績の修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

2. 2023年3月期の配当予想について

(1) 2023年3月期の配当予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想 (2022年8月13日公表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	10.00	10.00
今期実績	—	0.00	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元は、経営の重要課題であると位置づけております。業績、キャッシュ・フローのバランスを総合的に勘案して安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、本日公表いたしました2023年3月期業績予想を踏まえ配当予想を行っております。

※上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、開示すべき重要な事項が発生した場合には、速やかに業績への影響を開示いたします。

以 上